

石川ブランドに向けての 園芸作物の品種育成



日本なし「加賀しずく」

フリージア「エアリーフローラ」

石川県農林総合研究センター農業試験場 村濱稔

石川県における「ナシ」新品種開発の背景と目標

ナシの品種構成（石川県）

8月			9月			10月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下
新水 (5.8%)	幸水 (44.6%)		豊水 (32.3%)		あきづき (5.1%)		新高 (0.8%)	



早生種「新水」は玉が
小さく収量が少ない

育種目標

中生種「豊水」は酸味が
嫌われ、近年価格が低迷

旧盆前（極早生）、9月上旬（中生）に収穫でき
る収量性の高い良食味のオリジナル品種

「ナシ」新品種の育成経過

平成11年～交配 (57組合せ、1399個体)



1次選抜 10年

有望個体を台木に接木



2次選抜 6年

・石川n1号を選抜

特徴

- ・収穫期は8月下旬から9月の上旬
- ・酸味少なく、甘味多
- ・果肉はやや軟らかい



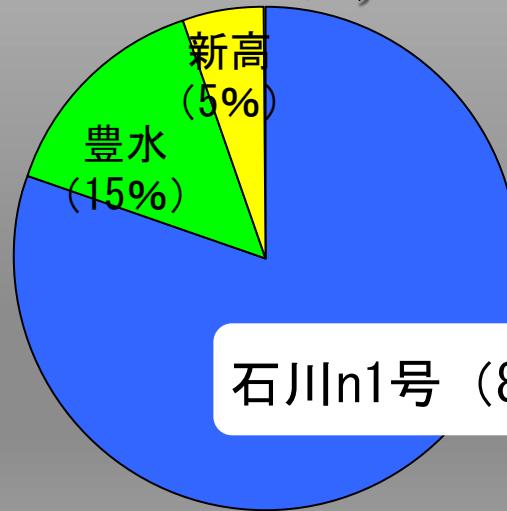
「石川n1号」の評価

生産者、流通関係者による試食会を実施



流通はシャリ感がない、酸味がないと評価

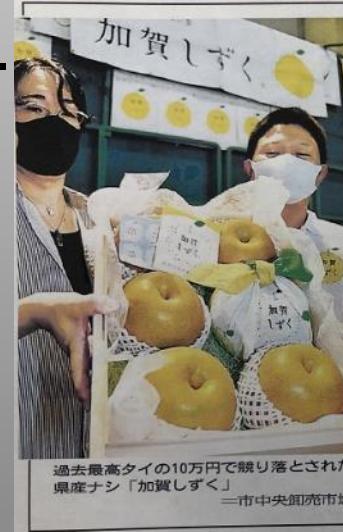
一般消費者へのアンケート (1,661名)



この結果から品種登録を決定

現在まで

- ・平成28年7月4日「石川n1号」として品種登録
- ・平成28年3月、販売名称を「加賀しづく」と決定
- ・平成29年8月、市場デビュー
- ・令和2年度は出荷量12t、
平均単価899円/kg



ルビーロマンに続く、石川県を代表する果樹に



石川のフリージア 「エアリーフローラ」 の開発



開発の背景

フリージアは石川県の冬期の気象条件でも、無加温ハウスで栽培でき、卒業式や入学式などがある春の需要期に出荷できる。

育成目標

- ・石川県で無加温で3月中旬から開花する
- ・茎が硬く、開花数が多く、花持ちする
- ・豊富なカラーバリエーション



エアリーフローラの育成

「石川 f 1号」～「石川 f 7号」として品種登録
シリーズ名を「エアリーフローラ」と決定



パープル



イエロー



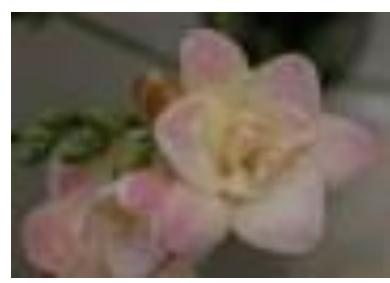
ローズ



ピンク



オレンジ



ピーチ



レッド



アラジン

黄色中心の他産地フリージアと区別性のある多彩なカラー
バリエーションでブランドイメージを確立する

石川オリジナルブランドのフリージアとして、生産を拡大



八重の新色を育成する

エアリーフローラ
旅立ちを祝う花・花言葉は「希望」

シルク



サンセット



シェルピンク



フレグランス特別賞

カラークリエイト特別賞

ジャパンフラワーセレクション2017

エアリーシルクのプレミアム規格は
R3.3に市場出荷で、1700円/本を記録

100万本を目標に生産を拡大

